

平成 29 年度第 2 回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成 30 年 2 月 15 日 (木) 午前 10 時から午前 11 時 43 分まで 富山市役所第 3 委員会室
委員 (委員数 5 名) 出席 4 名	委員長 古田 俊吉 (富山大学名誉教授) 委員 新畑 彬 (元大沢野町助役) 委員 彼谷 環 (富山国際大学教授) 委員 金山 睦美 (税理士)
欠席 1 名	委員 大石 貴之 (弁護士)
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日まで
抽出工事 (落札率)	10 件 (対象工事件数 484 件) ① 一般競争入札 (4 件) ・ 呉羽山公園 (都市緑化植物園) 施設整備工事 (97.83%) ・ 鶯坂小学校校舎増築工事 (83.00%) ・ 上水道太田地区舗装復旧 (その 1) 工事 (95.97%) ・ 富山公共下水道浜黒崎浄化センター沈砂池設備改築機械設備工事 (69.90%) ② 指名競争入札 (5 件) ・ 山田保育所トイレドライ化工事 (97.42%) ・ 草島小学校外 1 校防球ネット設置工事 (98.46%) ・ 市道八ヶ山石坂線改良 (第 3 工区) 工事 (99.37%) ・ 市道磯部大泉線歩道補修工事 (99.15%) ・ 市道花園町街区 1 号線側溝補修工事 (86.78%) ③ 随意契約 (1 件) ・ 牛岳クワッドリフト握索機オーバーホール (100.00%)
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成 29 年度上半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
①「呉羽山公園（都市緑化植物園）施設整備工事」は、造園業者でないと請け負えないのか。	①呉羽山公園は和風庭園のような設えがなされており、景観に配慮した施工が必要であることから、造園業者が適していると考えている。
②「鵜坂小学校校舎増築工事」において、14ページの低入札価格調査書に、安価で施工できる理由として「作業員の増員が可能となり、工期の短縮を見込んでいる」と記載されているが、増員された作業員の労賃については支障なく支払われているのか。	②その点については、落札前に業者から聞き取りを行い、確認を得ている。
③「上水道太田地区舗装復旧（その1）工事」において、一方の案件を落札した業者はもう一方の案件の落札者となることができないという設定は必要なのか。	③現場が住宅地の中であることから、1者が1つの工事に集中して施工することによる工期短縮を図る必要がある。また、受注機会を確保する観点から、重複した落札を制限する設定は必要であると考えている。
④「富山公共下水道浜黒崎浄化センター沈砂池設備改築機械設備工事」について、当該機械のメンテナンスが落札業者によって行われることを想定すれば、業者としては、機器費を安く見積もっても長期的な視点から減価償却や人件費などにおいて十分に元が取れると判断し、安価での入札につながったということは考えられるか。	④そのような意図はあったかもしれない。また、本工事は機械器具設置がメインであったが、その主要機器はクボタ環境サービス(株)の自社製品であったこともあり、クボタ環境サービス(株)を代表者とする落札者が安価で落札できたものと考えられる。
⑤「山田保育所トイレドライ化工事」について、41ページの指名業者選定書案によれば、現場の山田地域及び隣接する婦中地域、八尾地域の業者が指名されていないが、近隣に適切な業者がいなかったということか。	⑤一度不調になった案件で、業者を入れ替えて再度入札を行った経緯がある。
⑥「市道八ヶ山石坂線改良（第3工区）工事」について、落札率が非常に高いが、どのような要因が考えられるか。	⑥大型ブロックを積むという内容の工事だったので、業者の裁量が小さく、設計額との間に大きな開きが生じなかったのではないかと考えられる。
⑦「市道花園町街区1号線側溝補修工事」について、66ページの入札経過調書によると、2者が辞退しているが、配置できる技術者がいないという理由なのか。	⑦2者とも、積算した結果、予定価格内に収まらないという理由で辞退している。